

宇都宮メディア・アーツ専門学校との連携協定の締結について

1 協定締結に至る経緯

- ・ 実践的な職業教育・専門技術教育を行う専門学校では、社会的要請に応じて実際的な知識・技術等を習得した人材の育成が期待されており、メディア・アーツから、学生の実践教育の場を拡大するとともに、継続的なまちづくりへの参画姿勢の明確化に向け、本市との協定締結についての申し入れがあった。
- ・ 本市とメディア・アーツとは、これまでもイベントへの協力や啓発動画制作、ロゴマーク制作など、主に映像・音響やデザイン分野等で連携協力を行っており、今後においても、メディア・アーツが所有する知的・人的資源を本市の様々な施策に活かすことで、まちづくりの推進が期待できることから、本市として初めて専門学校との連携協定を締結することとした。

⇒ 裏面【参考】宇都宮メディア・アーツ専門学校の概要」参照

【参考】本市では、これまでに市内3大学との連携協定を締結している。

- ◎ 宇都宮大学 平成19年2月「相互友好協力協定」締結
- ◎ 文星芸術大学 平成26年8月「連携・協力協定」締結
- ◎ 作新学院大学 平成27年8月「連携協定」締結

2 協定の内容

(1) 連携事項

- ・ メディア・アーツの専門性を踏まえ、以下の事項について連携協力を行う。
 - ア まちづくりの推進に関すること。
 - イ 産業・福祉・教育・文化の振興に関すること。
 - ウ 都市の魅力の創造・発信に関すること。
 - エ 情報の発信に関すること。

(2) 体制の整備等

- ・ 大学との連携と同様、市とメディア・アーツにおいて、連携・協力に係る調整や取組評価等を行う会議形式の連携組織を整備する。

3 協定締結による効果

(1) 市とメディア・アーツ双方の効果

- ・ 連携協力の組織的・体系的な実施により、連携事業の実効性の確保や効率化

(2) 市における効果

- ・ メディア・アーツが有するノウハウの活用、教員・学生との協働
- ・ 教員や学生の地域活動への参加機会が増加することによる、まちづくりの活発化

(3) メディア・アートにおける効果

- ・ 教育の実践の場の拡大，継続的な社会参画

4 今後のスケジュール

1月23日（木） 定例記者会見後，協定締結の調印式

【参考】宇都宮メディア・アート専門学校の概要（令和元年5月1日現在）

- ◎ 設置法人 学校法人宇都宮美術学院（理事長 渡邊早月）
- ◎ 校長 島田 繁雄
- ◎ 在籍者数 教員60名（うち兼務教員43名） 学生163名
- ◎ 学校（昭和51年開学）

学科名	修業年限	入学定員
ビジュアルデザイン科	2年	40名
放送・映像・音響科	2年	25名
まんがアート科	2年	25名
建築インテリアデザイン科	2年	20名
美術大学受験科	各1年	昼20／夜40

◎ 本市との連携事業一覧（令和元年度）

事業名	担当課	内容
まちなかハンギングバスケット大作戦	景観みどり課	イベント協力
メディア芸術祭	文化課	イベント協力
サンセット・ジャズ（年4回）	文化課	イベント協力
市民芸術祭 映像制作	文化課	映像制作
市内小学生対象 地産地消啓蒙ビデオ制作	農林生産流通課	映像制作
「花と緑のフェスティバル」メインビジュアル制作	景観みどり課	デザイン制作
緑のまちづくり協議会 会報用イラスト制作	景観みどり課	イラスト制作

◎ 自治体との連携協定の締結

- ・ 平成21年2月 那珂川町
- ・ 平成30年3月 高根沢町